

京都府 議会だより

発行／京都府議会
編集／京都府議会広報広聴会議

京都文教高等学校 1年生
中野 真央さんに題字を
書いていただきました

No.40



京都府議会
ホームページ



Twitter



Facebook



大学生と
議員の
座談会

意見交換を行いました。

詳しくは
中面へ

Prefectural Assembly Roundtable



コロナ禍の中で開催した 京都学生祭典を振り返って

若い方々に議会を身近に感じてもらうよう、年1回開催している「大学生と議員の座談会」。今回は、京都学生祭典実行委員会のメンバー5人を招き、議員5人との意見交換を行いました。

京都学生祭典は、毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯を会場に開催されるお祭り。踊りや音楽、みこし、食のブース出店などさまざまなプログラムが繰り広げられ、例年10万人以上が来場します。企画立案から運営、広報、協賛募集など活動のすべてを学生が主体となって創り上げるのが特徴で、毎年、府内の大学などから100人以上の実行委員が集まって運営しています。第18回目となった今回は、コロナ禍の影響から史上初のオンライン開催に挑戦。特設ホームページや動画配信などを活用する形で同祭典を行いました。座談会では、開催そのものが危ぶまれた時期の苦悩や葛藤、課外活動が制限される中での開催方法の模索などについて話を聞くとともに、成功に導いた喜びと、その中で得られた新たな成果や発見についても語り合いました。

また、コロナ禍の中で学生の皆さんが受けてきた影響についても、さまざまな意見交換。大学のまち京都として、より学生生活の実情に沿った支援をしていくための参考となる、貴重なお声を頂きました。

活動内容

京都学生祭典実行委員会

3つの活動理念

- ① 京都を活気づけ、感動・笑顔を創り出す
- ② 京都の一員として、地域社会との繋がりを尊重する
- ③ 京都で学び、地域社会と共に魅力を広く発信する

この3つの活動理念をもとに活動されています。



写真のほかにも、地域交流、夜間パトロールなどさまざまな活動を実施。

ONLINE

高校側



議員側



ONLINE

コロナ禍による制約下でも前向きに取り組む強さに感銘を覚えた。

今後、多様な分野で進むであろうオンラインの活用において若者の発信力や着想に期待したい。学生生活で得た経験をもとに地元新しい風を吹かせよう。それが地域創生につながる。

大学生と議員の座談会

意見交換を行いました。

先輩たちから受け継いだ京都学生祭典を次世代につなぎいつか京都四大祭の一つに！

祭典のオンライン開催によって関西圏だけでなく海外にも広く発信できたのは大きな成果。


行政や企業がこれほど学生をバックアップしてくれるのは京都ならではの魅力だと思つ。



新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施しています(令和2年12月12日)

オンライン 出前高校生議会

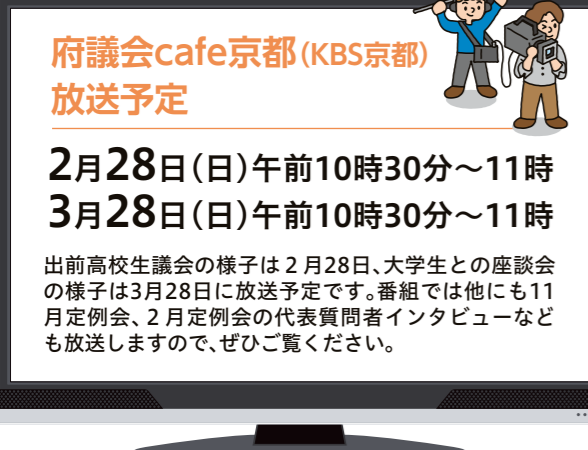
会棟と府立西城陽高校をオンラインでつなぎ、出前高校生議会を開催しました。同校の皆さんから提案していただいた教育や子育て施策などについて意見交換。最後には、生徒代表の方から「この経験を生かし、有権者になったら選挙に行きたい」「京都府のことだけではなく、日本全体のことも考えていきたい」という感想を頂くなど、とても有意義な時間となりました。



府議会cafe京都(KBS京都) 放送予定

2月28日(日)午前10時30分～11時
3月28日(日)午前10時30分～11時

出前高校生議会の様子は2月28日、大学生との座談会の様子は3月28日に放送予定です。番組では他にも11月定例会、2月定例会の代表質問者インタビューなども放送しますので、ぜひご覧ください。



代表質問
令和2年12月7、8日に
行われた代表質問の主な内容は
次の通りです(質問順)

**季節性インフルエンザの
流行期でのコロナ対策について**
池田 正義 自民 舞鶴市

質問 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される中、本府の対策本部会議で、身近な医療機関で相談・受診・検査を受けられる体制への移行が決定されたが、進捗状況や課題とその対応策はどうか。

答弁 診療・検査のできる医療機関は532カ所から686カ所まで拡充。相談は、医療相談センターが24時間体制で対応している。医療機関からは院内感染を懸念する声もあり、感染症専門のサポートチームが対応している。

**雇用の維持と
人材の確保を**
小原 舞 府民 舞鶴市

質問 新型コロナウイルス感染症の影響により本府の有効求人倍率は大きく低下しているが、来以降の雇用情勢をどのように認識しているのか。また、本府の対策とPOSTコロナを見据えた雇用政策の展望はどうか。

答弁 雇用情勢はさらに厳しい局面を迎える。雇用の維持や解雇などを受けた方、学生などへの支援に最大限努力したい。中長期的には成長分野の専門人材の育成や、誰もが生涯にわたって働きやすい社会づくりを進める。

**行政サービスにおける
押印の見直しについて**
岸本 裕一 自民 北区

質問 国の規制改革担当相は、全ての府省庁に対し、デジタル化の支障となる行政手続き上の押印を不要とするよう求めた。本府において、現在、押印の見直しについて調査しているが、その状況はどうか。

答弁 国の法令などに基つかず、京都府で見直しが判断できる手続きが約4,000件ある。そのうち、府民の皆さまに新たな負担なく押印を廃止できる手続きが9割程度あり、府民の皆さまの利便を図っていきたい。

コロナ禍における介護者に対する支援について
小鍛治 義広 公明 南区

質問 ケアラーが新型コロナに感染した施設での要介護者の受け入れなど、本府はコロナ禍で困難な状況にあるケアラーをどのように支援してきたのか。また、今後どのように対応体制を拡充するのか。

答弁 介護者を感染から守るため、衛生用品の供給や研修など、感染症対策を支援している。今後さらに、徹底した介護施設への積極的疫学調査と幅広い検査を実施し、感染拡大を防止していききたい。

**健康無関心層へ
効果的なアプローチを**
田島 祥充 自民 八幡市

質問 生活習慣病の予防や重症化の防止、疾病を早期に把握するための健診の受診奨励などには、健康無関心層への効果的なアプローチが重要だと考える。この課題をどのように認識し、取り組みを進めるのか。

答弁 健康診断受診を促す案内はがきの作成や、生活習慣病の重症化を防ぐための糖尿病対策事業などを進めているところ。子どもたちへの健康教育や食育の推進、健康無関心層を作らない取り組みも進めたい。

馬場紘平

共産 伏見区

- ▼ 地域経済対策としての住宅改修助成制度の実施について
- ▼ 北陸新幹線の延伸計画に対する住民の意見について

園崎弘道

自民 城陽市

- ▼ スーパーシティの取組について
- ▼ 持続可能な地域づくりを目指したテクノロジーについて

畑本久仁枝

維新 西京区

- ▼ 在宅育児支援について
- ▼ 主権者教育について

田中美貴子

府民 宇治市・久世郡

- ▼ WITHiコロナ社会における女性を取り巻く課題の解消と躍動について
- ▼ 京都府独自の次世代につなぐ農業（手摘み茶と都市農業の振興）について

村井弘

公明 宇治市・久世郡

- ▼ 淀川水系の河川整備とダムの事前放流について
- ▼ 前方後円墳の発掘成果とその活用について

12月10日(木)

中村正孝

自民 亀岡市

- ▼ 豊かな森を育てる府民税の延長と大型木造建築の普及について
- ▼ コロナ禍における本府と府内市町村の財政運営等について

森下由美

共産 八幡市

- ▼ 新型コロナウイルス感染症の検査体制及び感染者の家族に対する支援について
- ▼ 特別支援学校の設置基準について

井上重典

自民 福知山市

- ▼ 農業を取り巻く環境について
- ▼ 国道429号榎峠トンネル化について

田中健志

府民 中京区

- ▼ 学校教育のICT環境の整備状況について
- ▼ コロナ禍の特殊詐欺の状況について

渡辺邦子

自民 伏見区

- ▼ 伏見港の「みなとオアシス」への登録について
- ▼ 関西広域連合について

12月11日(金)

光永敦彦

共産 左京区

- ▼ コロナ禍の貧困問題と対策について
- ▼ 関西化学術研究都市の在り方について

磯野勝

自民 向日市

- ▼ 「こども宅食」の活用に向けた支援について
- ▼ 府営住宅向日台団地の建て替えについて

北原慎治

自民 右京区

- ▼ 高齢者の活躍と居場所、介護予防について
- ▼ 再生可能エネルギーの導入と温室効果ガスの削減について

北岡千はる

府民 左京区

- ▼ KYOのあけぼのプラン（第4次）について
- ▼ 信号機のない横断歩道における交通安全対策と教育について

その他の項目は府議会Webをご覧ください。



代表質問



京都こども文化会館について

成宮真理子

共産 西京区

質問
利用者や地元関係者に説明もなく閉館したが、今からでも意見を聞くべきと考えるがどうか。年度途中に閉館した理由は何か。同館は子どもたちの大切な財産であり、再オープンすべきと考えるがどうか。

答弁

会館のあり方懇談会を設置し、地元関係者や利用者をはじめ、幅広く意見をお聞きし、京都市と検討を進めてきたが、耐震性能の不足や老朽化の進行などからやむを得ず閉館した。ご理解を頂きたいと思う。

Information

京都府交通安全基本条例を一部改正しました

「京都府交通安全基本条例」は平成26年9月、議員の提案により制定した条例です。先の11月定例会において、妨害運転（いわゆる「あおり運転」）をなくしたいという議員の思いから、危険運転の根絶を定める条文に「妨害運転」を追加する改正案を可決しました。

2月定例会の日程

会期

2月12日(金)～3月22日(月)

※代表・一般質問や各委員会は、インターネット（スマホ、タブレット可）からご覧いただけます。

